

# CASBEE<sup>®</sup>神戸ver.2

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.2

{使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.2 / CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)}

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グッドマン赤松台2新築工事計画	階数	地上4F,地下1階
建設地	兵庫県神戸市北区赤松台1丁目1番8	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	360人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2018年2月9日
敷地面積	25,454 m <sup>2</sup>	作成者	浅井謙建築研究所
建築面積	13,059 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	44,178 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 30% (13.8 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 90%

④上記+: 90%

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.4

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 CASBEE神戸 の重要項目		
<b>バリアフリー計画</b> Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 <p style="text-align: right;">3.0</p>	<b>建築物の耐震性等</b> Q-2/2.1 耐震・免震 <p style="text-align: right;">3.0</p> Q-2/2.4 信頼性 <p style="text-align: right;">3.0</p>	<b>まちなみ・景観への配慮</b> Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 <p style="text-align: right;">3.0</p>
<b>配慮の概要</b> 各事務所まで車いす移動可能な経路を設置。 誰でもトイレ同等基準のトイレを設置。	<b>配慮の概要</b> 耐震性能は建築基準法に適合したものとした。 災害時も建物機能を最低限維持できるように非常用電源などを設置しBCP機能の向上に努めた。	<b>配慮の概要</b> 前面道路の圧迫感を軽減するため、高木の並木を設けた。 既存樹木を保存しながら、建物を計画することで計画地周辺の景観が著しく変化しないよう配慮した。
<b>その他の配慮事項</b>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される